

平成29年度いじめ防止実践事例発表会について

1 日 時 平成30年1月30日(火) 16:00~17:30

2 場 所 練馬区立生涯学習センター

3 参加者

(1) 来賓・登壇者	11人
(2) 「練馬区いじめ防止シンボルマーク」表彰児童・生徒	27人
(3) いじめ防止実践事例発表児童生徒・一般児童生徒	4人
(4) 幼稚園教員(園長含む)	6人
(5) 小学校教員(校長含む)	72人
(6) 中学校教員(校長含む)	45人
(7) 地域・保護者	65人
	230人

4 次 第

- (1) 練馬区教育委員会あいさつ 河口 浩 教育長
 (2) 練馬区いじめ防止シンボルマーク表彰および紹介(裏面ポスター参照)
 (3) いじめ一掃取組月間 「学校(園)奨励賞」表彰
 (4) 「学校(園)奨励賞」受賞校 いじめ防止実践事例発表

【授業・保育部門】

北大泉幼稚園 「絵本の読み聞かせと園オリジナルソングを用いた人権教育の充実」

人権にかかわる絵本を吟味し、毎日の読み聞かせを積み重ねる中で、絵本の登場人物の気持ちに共感できる園児が増えた。また、園のオリジナルソングを歌う機会を毎日つくり、歌をとおして自分の気持ちを考えながら、他者の気持ちに共感できるような園児を育てる工夫をした。

開進第二中学校 「障害者理解学習で培う思いやりの心」

人権尊重教育推進校における人権教育の一環として、障害者理解学習を行っている。聴覚障害者や視覚障害者への理解を深めることや車いす体験学習を行う中で、障害がある人とどのように接していくかを考えさせる指導に取り組んだ。こうした学習から他者理解を深め、思いやりの心を育て、自分自身や他者を大切にできる生徒を育成している。

【児童会・生徒会部門】

中村小学校 「『折り鶴』の取組による子どもたちの心のふれあい」

代表委員会のアイデアで「折り鶴はみんなの心を見えています」という呼びかけをし、折り鶴を使った活動を行った。上級生が下級生に折り鶴の折り方を教える交流や、できた折り鶴を廊下に並べて大切にしていこう活動を通して優しい気持ちが芽生えた。開校70周年の活動として、周りへの感謝の気持ちを書き留めた折り鶴を使って千羽鶴を作成した。

南が丘中学校 「生徒が作成したいじめ防止ビデオによるいじめ防止の呼びかけ」

生活委員会の生徒が中心となって「いじめ～見ている人がすべき行動～」というビデオを自主制作した。ビデオでは、嫌がらせやトラブルの具体的な例を挙げ、その解決法を示したり問題提起したりしている。生徒会朝礼でビデオの発表を行い、生徒が主体となっていじめの防止を訴えた。

【保護者・地域との連携部門】

光が丘第八学校 「地域と連携した子どもの見守り」

地域の活動を学校だより等で積極的に紹介し、児童の参加を促している。地域の活動には管理職が必ず参加し、地域との連携を密にして児童の生活に関する情報を共有している。夏季休業前には近隣の商店等に児童の見守りを依頼し、何かあれば学校へ連絡をしてもらう体制を整え、学校と地域で協働しながら子どもの健全育成に努めている。

(5) 講評

芝田 智昭 教育指導課長